

那須烏山市下川井地区で 生きもの調査を実施しました！



令和5(2023)年8月24日に、ほ場整備事業を計画中的の下川井地区(那須烏山市下川井地内)で生きもの調査を実施しました。本調査は、多面的機能支払交付金の活動組織である下川井の郷保全会と合同で行われ、地元の小学生をはじめ下川井地区土地改良推進委員会、県環境配慮検討会アドバイザー、那須烏山市、栃木県土地改良事業団体連合会、本事務所から40名ほどが参加しました。

下川井地区は、農地の基盤整備と担い手への農地集積・集約化による、生産コストの削減や露地野菜の生産拡大を目指した圃場整備を実施するために、現在調査・計画を行っている地区です。

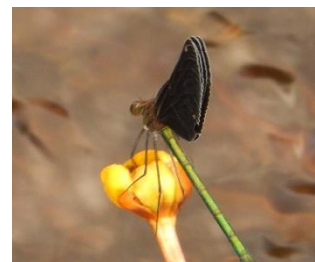
調査では、国内希少野生動植物種に指定されているシモツケコウホネが生息する周辺でタモ網、サテ網を使って採取した結果、カワムツ、タモロコ、トウキョウダルマガエルなど様々な種類の生きものを確認することができました。今後は、調査結果を参考にして生態系に配慮した工法について検討しながら、ほ場整備事業の計画づくりを行っていく予定です。



タモロコ



トウキョウダルマガエル



シモツケコウホネ